

ニュースレター 8月

2020. 8. 1発行



今月は外構の防犯対策！泥棒に狙われにくい対策をお届けします。



エクステリアプランを検討する際には、動線やデザイン性だけでなく、防犯について配慮しておきたいものです。どの程度の防犯性能が必要かは、周辺環境や敷地条件によっても異なりますが、ここでは 新築やリフォームの際に役立つポイントをご紹介します。

1、外構(エクステリア)プラン時には防犯にも十分配慮を



住まいの外構(エクステリア)のプランニングの際には、ゾーニング(配置)や動線デザイン性などだけでなく、防犯についても十分に配慮したいもの。

どの程度、防犯性を高めるかは、敷地の条件や周辺環境にもよりますし、予算などによっても異なりますが、外構プランへの優先順位を明確にして検討すること。防犯性能を高めた、門扉やフェンス、カーポートなど、エクステリア建材も多くみられるので、プランに合わせて取り入れるといいでしょう。

2、基本は、不審者を門(敷地)の中に入らせないこと



住まいの防犯性を検討する際は、まず、周辺環境を確認し、それに見合ったプランとすることが基本。車や人の通行、近隣建物、日中だけでなく、夜間の状況なども考慮して、住まいの配置や間取り、エクステリアプランを考えるようにしましょう。敷地の境界線に設ける門扉やフェンスは、侵入者(不審者)をいかに門の中へ入らせないか、を重視してプランニングしたいものです。これらを設けない開放的なエクステリアも魅力的ですが、防犯の面から考えると、環境に適した門扉やフェンスは必要でしょう。

上記の写真は、カードやシールで施錠できる玄関ドアと同じキーシステムの門扉です。キーがたくさんいらすいず使い勝手もいい。

3、門扉やフェンスは乗り越えにくいタイプを採用

門扉やフェンスを選ぶ際は、頑丈なつくりであることはもちろん、簡単に乗り越えられない高さや形状であること。コンクリートなどの高い塀などを設けることも考えられますが、侵入された場合周囲から死角となってしまう場合もあります。一般的には、不審者の隠れ場所にならないように見通しの良いデザインにするとよいでしょう。最近では、縦や横のスリットなど、シンプルなデザインで見通しが良いタイプが多くみられます。

また、門扉の施錠方法も確認を。門扉のカギには、一般的なシリンダー錠のほか、リモコンやカードキーなど玄関錠と同様の機能を持つ商品、一つのカギで玄関錠と門扉の両方が施錠可能なものなどもみられるので、玄関錠と合わせて検討することも必要でしょう。

4、カースペースには、ゲートやシャッターを設けて



門扉やフェンスだけでなく、カースペースの防犯も検討したいものです。車の出し入れやすさを優先させて開放的にしておくと、侵入者を招くことになる場合もあるので注意が必要です。敷地の境界を明確にしておくことは基本ですが、境界線を示す程度の車止めよりは跳ね上げや伸縮タイプのゲート、もしくはシャッターを設置しておきたいものです。

開放感のあるグリル(パイプ)シャッターですと、侵入者が身を隠す死角を作らないというメリットもあります。

5、住まいの裏手や庭への通路にも配慮を



外回り全体のプランニングにもよりますが、正面の門扉やフェンスだけでなく、住まいの裏手勝手口や庭への通路などにも注意が必要です。裏手には、浴室やトイレなどが配置されることも多く、換気のために窓を開けておくケースも多いもの。人通りが少ない裏手に侵入されないように配慮を。オープン外構の場合でも、プライベートな空間へ簡単に侵入できないように小型の門扉を設けておくのも一つの方法でしょう。

裏手へ回るためのスペースへ門扉を設置した例

6、ポストはセキュリティー機能と容量を確認する



門扉の周辺に設けるポストを選ぶ際には、まず、郵便物が盗まれないように鍵のかかるものを選択すること。また、投函口にも、盗まれない工夫がなされていることも大切なポイントです。ポストの施錠方法には、ダイヤルタイプや暗証番号を設定するタイプ、南京錠を付けられるタイプなど、いくつかの種類があるので家族が使いやすいものを選ぶとよいでしょう。

また。ポストに郵便物や新聞がたまっている、不在をアピールしているようなもの。郵便物がしっかりと収まる大きさと形状を選ぶことも重要です。不在がちで宅配が多いお宅であれば宅配ボックスも併せて検討してもいいでしょう。設置する場所は、できるだけ外、門扉付近などに。玄関付近では、侵入者を玄関先まで誘導することになるからです。

7、画面で確認でき、画像を残せるドアホンに



新築やリフォームの際には、「テレビ機能付きドアホン」が多く取り入れられています。訪問者を映像で確認できるだけでなく、様々な機能がついている製品が出ています。

留守中の訪問者も録画しておくことができ、また外出中でもスマートフォンへ連絡が入る機能も最近では出回っています。SDメモリーに録画できるものがおすすです。ポスト同様に、侵入者を玄関先まで誘導しないように、門扉付近に設置するのが良いでしょう。

8、室外機やカーポート屋根など、2階へ足場をつくらない

外回り全体の防犯を考えた時、2階の窓やベランダへの足がかりを作らないということも意識しておきたいポイントです。たとえば、エアコンの室外機や給湯器、デッキやテラス屋根配管や雨どい、物置なども足場となる可能性も。

カーポートの屋根も足がかりとなるケースがあるので、デザインや配置にも気を付けたいところです。

快適な暮らしを実現するための家づくりが、防犯性を高めるあまり閉鎖的な住まい、居心地の悪い暮らしになってしまうようでは本末転倒。家族構成やライフスタイル、周辺環境など、さまざまな角度から検討し、優先順位を明確にしてプランニングすることが大切でしょう。

土建・リフォーム

木築

株式会社 渡辺組

本社 海津市海津町高須町720-1
0584-53-0174

リフォーム 海津市海津町馬目371-3 (コーポ日新1F)
0120-202-988

E-mail info@watanabegumi-kaizu.com

URL http://www.watanabegumi-kaizu.com/

*毎月皆様の暮らしのお役立ち情報をお届けしています。何かお気付きの事や知りたい事などございましたらいつでもご連絡なくお申し付け下さい。皆様のご意見ご感想を元にお役に立てれば幸いです。